発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番
編集兼発行人　鶴　仮

この機関紙は次の組合で共同編集したものです

三池炭鉱労働組合
三池染料労働組合
東洋高圧労働組合
三池製煉労働組合
三池炭鉱職員労働組合
全日自労大牟田分会
市教職員労働組合
市職員労働組合連合会
電気化学労働組合
三池合成労働組合
国鉄労組大牟田支部
西日本鉄道労働組合
全逓労働組合
電通労働組合
中小労働組合連合会

低賃金を打ち破れ
春闘に共闘の足なみ揃う

春闘争の火ぶたはいよいよ切られた。賃上げ、安保条約破棄、最賃制の確立、ILO条約批准、勤評反対の要求をかかげて民間、公労協の全単産が一せいに立上つた。独占資本家は春闘の先制攻撃として企業合理化をつきつけ、また不況に名をかりて強硬な態度をみせ、闘いは余断をゆるさない情勢にある。春闘西の拠点大牟田では、いま大地評を軸に共闘態勢を強化して闘いを始めているが、以下各組合の動きをつたえよう。

企業整備に対決
炭労は統一闘争組む

【三鉱】一方八十円(一カ月約二千円)の賃金増額、家族手当増額などの要求をだして闘つている賃金闘争は、すでに三回の団体交渉をおこなつているが、会社側は「不況の影響をうけているし、炭価引下げのうごきもあるので、賃上げはできない」とゼロ回答をだしてきた。

もちろん、炭労の統一要求であり総評の春闘闘争のなかで、要求獲得のため実力をかけて闘いをすすめていくことになつている。

首切りと賃金引下げ

さかんに赤字宣伝をやつていた三井鉱山は、一月十九日再建案という名の「企業整備案」をだしてきた。

それは、職制を復活強化して職場闘争を封殺する。残業や公休出勤を一方的に削減し大巾な賃金切下げをする。入坑採用の大巾な削減鉱業学校生徒の中止。希望退職募集によつて人べらしと首切りをおこなう。など労働者のみの一方的な犠牲で「企業合理化」を強行しようとする悪ラツな企業整備案であつた。

いままでのながい闘いで、闘いとり積みあげてきた長期計画協定をはじめ、一切の既得権をもぎとつて首切りと賃金切下げを押しつける「企業整備」は、炭労の統一闘争でハネ返すたたかいがすすめられている。

なお、三井は他社にくらべて「能率」がわるく「赤字」だから企業再建をやらねばならないといつていたが、三井鉱山だけでなく二月二日飯野に、二月四日には明治にも三井とおなじような大がかりな「企業整備案」がだされ、三井鉱山が「赤字」だから〃再建〃をするのではなく、全石炭資本が一方的な企業整備を強行しようとしていることがあきらかになつた。

三池労組では、すでにこのことを予想して昨年の秋から、闘争態勢づくりをおこなつてきたが、闘いはいよいよ本格的な段階にはいり春闘のなかで炭労の統一闘争として巾広い全労働者にささえられたねばりづよい闘いがつづけられることになつた。

この闘いは賃金闘争とからみあつてきわめて長期化することは必至で、力強い大地評としての共闘がよびかけられている。

停年延長も要求
下旬にスト権確立

【三染】一月三十日要求書をだし二月十六日に回答を求めている。

賃上げ要求は組合員一人平均額二・五〇七円、この要求額のうち男女賃金格差是正のため女子のみ四・五%の乗率をふくむ体系となつている。

住宅手当は寮、社宅居住者をのぞく世帯主に一率に千円を支給(現行三百円)

停年制一年延長の要求として、いま満五十五才になつたとたんの退職を満五十五才一パイ勤められるように停年制を一年延長する要求をだしている。

そのほか、昨年要求し未解決になつている現在員確保(入替採用を含む)や、自転車手当支給をはやく解決するよう要求している。

この要求と闘争方針説明のため、いま社宅主婦にたいする社宅オルグをおこなつている。予定としては会社回答のあと、十九日ごろからスト権確立の投票をおこない、二十一日ごろ開票の予定であり、合化の統一闘争として闘いをすすめていく。

22日に集約決起大会
大牟田を據点にひらく

電職法改憲反対闘争の成功で労働者階級は大きな自信をふかめたが今年の総評の春闘は炭労、合化、全鉱、私鉄、鉄鋼などの民間単産が前面にでて、二十五日の第一次統一行動日を目標に一斉に実力行使に突入する。

さらに総評では、国会の予算審議を中心におく社会党の院内闘争と呼応して、三月十日前後を最大のヤマとする高原闘争に突入する当面のスケジュールをくんでいる。

これに先立つて、福岡総評では一月三十一日、第八回幹事会をひらいて春闘方針を討議したが、県共闘会議をつくつて全県の労働者の統一闘争を有機的にすすめることにした。

第一次統一行動の県集約決起大会を、こんどの春闘で八幡とともに拠点に指定された大牟田でおこなうことをきめた。

大地評の執行委員会では、県の決起大会を第一次統一行動を前にした二十二日の日曜日におこなうことにきめたが、具体的には今後県の実行委員会で計画されることになつている。

16日にスト権確立の大会

【東芝】一月二十九日から本部で開かれた中央委員会で要求をきめ四日要求書をだし、会社回答を二月十六日にまとめることにしている。

なお同月には各支部一斉にスト権確立の大会がもたれることになつている。

要求の大綱はつぎの通り。

◈賃金
社員=二、六四六円
(うち定昇四五〇円を含む)
現務員=二、六三五円

◈退職金
社員=二十五年で約一七〇万円になるようにする。
現務員=同一勤続社員の半額を要求。

◈期末手当
社員=平均手取
四〇、五〇〇円
現務員=平均手取
三〇、一〇〇円

◈結婚資金
二万円を要求、再婚一万円

◈その他
超勤手当割増率引上げなどの要求。

20日に回答
賃上げ二・六一四円

【合成】合成労組では、つぎのような要求をかかげて春闘をたたかつている。

◈賃上げ
組合員一人平均 二、六一四円
(含、定昇六八〇円)

【配分】
基本給 一、七七七円
職務給 五七七円
勤続給 二六〇円
現行ベース二、二六八円

◈退職金増額
現行高小卒勤続三〇年で一三〇万円を一八、二万円に五一万円の増額

◈二月七日要求書を会社にだし、回答日は二月二〇日。

時間短縮も要求
山元要求も35項目

【三染】一月二十日の全鉱中央委員会決定によつて二月五日傘下全企業連が一斉に要求書をだした。回答日は二月十六日だが、この場合会社態度に回答延期など誠意がないときは実力をもつて闘うことをつけくわえて要求書をだしている。

要求事項は
一、一、五〇〇円の賃上げ
一、最賃制度の確立
一、労働時間短縮
(週実働三九時間)
一、諸手当の増額
(残業食、呼出手当、消防手当)

さらに、昨年十月に要求書をだしていたけい肺協定改訂闘争は春の賃闘とあわせて闘うことがきめられているが、この解決がおくれたときは賃闘がおわつても引き続いて闘うことになつている。

なお、二月二十一日、二十二日の両日スト権集約の一般投票をおこなう。

また単組独自の要求三五項目については、賃闘のまえ(二月)までに解決する目標でいま交渉をおこなつており、その主な要求項目は

一、臨時工問題
一、社宅改善問題
一、燃料配給問題
となつている。

全遞だけ受理せず
公労協では事情聴取

【国鉄】一月二十一日、二日中央委員会をひらいて、春闘方針をきめた。新賃金は要求平均二・七〇〇円、十二月十五日調停委員会に申請し、一月八日第一回の事情聴取がおこなわれた。

そのほか志免払下反対、筑肥線合理化反対闘争をおこなつている。

【全通】一月二十九日から三日間伊東で中央委員会がひらかれ、春闘方針をきめた。

新賃金(平均二・五〇〇円)は、一月十七日申請書をだしたが、調停委員会は、解雇三役をかかえた組合であるという理由で正式受理をせず、会長預りということになつている。正式受理するかしないかについては委員会の今後の検討課題になつている。

【全電通】一月二十一日—二十三日浦和で中央委員会をひらいて春闘方針をきめた。

新賃金(要求平均三・〇〇〇円)は昨年十二月二十二日調停委員会に申請書をだし、一月二十八日第一回の事情聴取がおこなわれた。

事情聴取のとき問題となつた点は
(1)大企業(国際電々)との関係、
(2)生産性とオート・メーションの問題がだされた。

職場給に改訂
苦しい組合員の家計

【電化】三十四年度の労働協約改訂期にあたり、一月十九日から三日間、二月六、七、九日にわたつて中央で協議をおこなつた。

労使双方改訂文がだされ論戦が交されたが、こんどはとくに生産能率を上げる会社側の意図があるので、生産によつてスライドしていた能率奨励金制度を廃止し、賃金を固定化した職場給に改訂することが主眼点である会社の企業がナベ底景気といわれ昨年から操短をつづけ、基準内賃金である能奨金が大幅に低下、組合員は非常に苦しい生活状態をつづけている現況であるこの切実な要求を全国的にくりひろげる春闘の中で闘うことになつている。

勤評、不当弾圧と対決

【市教組】勤評阻止とすでに提出しているものの撤廃の闘いとして二月十六日、十七日、勤評提出拒否校長大会をひらくことになつており、各分会では、校長が参加に応じるまで連日団交を行う。

また、新年度予算の大巾獲得を生活権をまもる闘いとして、予算編成過程を通じて組合員の大量動員による強力な大衆行動をくんで、定員確保の引上げ、すしづめ学級の解除、その他諸手当の増額を確保するとともに不当人事、弾圧、処分排除の闘いと勤評反対闘争の署名を全組合員の行動によつて行うことになつている。

進む国民大行進
八十円の一率引上げ要求

【自労】戦争と失業に反対する国民大行進と歩調をあわせて、中央では、二月二日東京都千代田公会堂で「働かせろ食わせろ失業者総決起大会」がひらかれた。

春闘として、賃金一日八十円の一率引上げ、最低賃金審議会設置(県)、月間二十五日就労、就業ワクの拡大、生活保護費を二倍に、期末手当の予算化を要求している

二日からスト
柔軟・全面ストで闘う

【西鉄】二千円の賃上げを要求している西鉄労組では、十二日正午から本社で団交をひらき、会社側がさる七日おこなつた中労委への調停申請をとりさげるよう要求した。

会社側がこれを拒否したため、組合はただちにスト通告をして、つぎの方針をきめた。

(1)総評の第一次統一行動日の二十五日には全職場で時間内職場大会をひらく。

(2)三月二日から七日まで柔軟スト。

(3)三月八日二十四時間全面スト

(4)三月九日から十五日までの間に二十四時間全面スト。

賃上げや身分差の撤廃

【市労連】春闘の要求をまとめるために職場討議中であるが、要求の大要は、

(1)賃上げ二千円プラス・アルファ。

(2)臨時職員の全員昇格。

(3)身分差の撤廃。

(4)諸手当の増額。

その他の職場要求で、十八日の執行委員会で集約して機関にかけたあと、二十一日か二十三日に要求書をだすことになつている。

春闘のなかで大地評駅伝がおこなわれた。

▼ 闘いは長びきます。生活費を二割きりつめて長期闘争にそなえましよう。